

6 富士山の世界文化遺産登録に向けて

静岡県からのお知らせ

……………平成25年の登録へ正念場！イコモスの現地調査に向けて……………

去る1月27日、日本政府がユネスコに推薦書を提出したことを受け、本年の夏から秋にかけて、イコモス(国際記念物遺跡会議)の現地調査が行われます。

現地調査では、次のような視点から審査が行われます。

- 締約国によって登録推薦された資産が顕著な普遍的価値を持つか
- 顕著な普遍的価値の完全性及び真実性の条件を満たしているか
- 必要な保護管理上の要件を満たしているか

静岡県は、国、山梨県、関係市町村等と連携し、この調査において富士山の価値及び保存管理の取組状況について理解が得られるよう努め、平成25年の富士山世界文化遺産への登録が確実となるよう万全を期してまいりますので、引き続き、皆様の御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

……………「富士山世界文化遺産両県県民会議」会員取組事例紹介……………

平成24年2月23日の富士山の日に、「美しい富士山を未来へつなぐ会」を拡大・改編し、静岡・山梨両県知事、両県議会議長、民間団体の代表者を共同代表とした「富士山世界文化遺産両県県民会議」が発足しました。

現在、ポスターや会員プレートを掲出していただくなど、様々な活動を自主的に進めていただいています。そこで、県民会議の会員様で、すでに活動されている団体の活動事例について御紹介します。

富士山世界文化遺産裾野市民協議会

平成23年11月1日、裾野市の富士山関連10団体が参加し、富士山世界文化遺産裾野市民協議会が設立されました。協議会は、平成25年の登録を推進するため、富士山及び周辺の清掃活動や学習会の開催、啓発展示会開催など各団体の長を生かして市民レベルでの活動を繰り広げています。

活動事例として、「富士山でおもてなし」を合言葉に実施している富士山及び山麓の清掃活動・美化運動があります。協議会全体で年6回ほど実施し、構成団体の活動も入れると月1回ペースで実施しています。

また、協議会では行政とともに、裾野市内の富士山関連施設、史跡、構成資産等について学習会や富士山に関する講演会を実施しています。



揃いのユニフォームで清掃活動を実施する会員

世界に誇る日本のシンボル富士山を
みんなで未来へ引き継いでいこう！

県民会議の入会について…

詳しくは、[静岡県](#) [世界遺産](#)

[検索](#)

お知らせ

富士山世界文化遺産登録への機運の構成を図るため、8月11日(土)に静岡、山梨両県で富士山一斉清掃が行われます。

ふじさんネットワークでは、8月11日を中心とした8月に、富士山をすそ野からみがきあげる「富士山みがきあげ作戦」への参加団体を募集しています。

詳しくは、ふじさんネットワークのホームページをご覧ください。